

《利用状況 案内板 (☆募集中★満員)》
 ☆ナイス・ケア ☆=利用者さん大募集♪
 ☆ナイス・デイ (定員 10名)

日	月	火	水	木	金	土
6	8	5	7	6	6	6

 ☆ナイス・ホーム (定員 21名、現在登録者 16名)
 ☆愛宕の家 (定員 17名中入居者 12名)
 ☆つしま紹介所
 ☆ナイス・キッズ
 ~参考にご利用下さい~

《6月行事予定》
 10日 外食DAY
 12.19日 救命救急講習
 20日 避難訓練
 29日 誕生日会
 ※中旬に稲沢あじさい寺
 《不定期行事》
 天気や意欲等で状況判断し、外出先一覧を参考に社会生活に参加します。

《教室案内》
 ・和太鼓 月曜日(年間 35回)
 場所:愛西市川淵コミュニティ
 ・コーラス 水曜日(月 2回)
 場所:喫茶てのひら
 ※職員やキッズ達の趣味活動を兼ねて各教室を発足。地域の方々にも参加していただけます。
 各教室月謝制で、定員あり。
 詳細はお問い合わせ下さい。

生活に合わせて/ナイス・ホーム
 今月は日頃のナイス・ホームの個々の家庭環境に合わせた対応を一部紹介します。
 ① 普段は通い利用が中心。自宅では食事や排泄も妻が担当。でも時々、排泄交換に困る時がある。そんな時は妻からホームに電話してもらい、訪問を調整。スタッフが自宅へ伺い、排泄介助のお手伝い。
 ⇒定期的には必要ないけど、困ったときには臨機応変に訪問対応。
 ② 自宅での介護は家族で出来る。でも、朝早くから夜遅くまで仕事がある。通いの通常時間(10:00-16:00)の利用では、1人で留守番させる事に…。認知症があり、転倒の危険も高いから心配。そんな時は通いの延長利用。実費負担も出てくるけれど、1人で過ごす時間がほぼなく、家族も本人も私たちも安心。
 ⇒通常時間外の家庭に合わせた利用時間。
 ③ 通いを利用し社会参加。他者との関わりを持つことで認知症予防、生活のメリハリがつけば…と介護者の願い。人と話をする事は好きだが、『出かける事』事態が大きな負担、ストレスだ!! 家にいたい…と本人の願い
 ⇒生活の場に訪問対応することで関係作り、生活のメリハリ、認知症予防に繋げる。
 通い利用時間の融通、その時々で必要な分だけの訪問対応など、利用者さん、介護を担ってみえるご家族の状況に合わせて対応。もちろん、介護計画書に基づいて、根拠、目標を持っての関わりが原則です。
 今後も「小規模の制度でよかった」と感じてもらえるように、小規模多機能型居宅介護の制度を活用するために頭をフル回転させます!(Y・O)

子どもと高齢者/ナイス・キッズ

ここ最近土曜日は、2歳児と小学校3年生の2人きりが多い。めっきり、デイやホーム、愛宕の家に入り浸っている…。「やかましい〜!!」と怒られる事もあるが、利用者さんたちは、キッズたちがウロウロしているのにまんざらでもない様子。そんな中、小学校3年生が作文を書いたものでちょっと紹介。
 『ママのお仕事場のおじいちゃん、おばあちゃんたちは私が会いに行く事を楽しみにしてくれています。〇〇さんは、誕生日を覚えてくれたので、次の土曜日にハートのメダルを作ってあげました。△△さんは、かるたを一緒にやってくれます。でも、時々急に怒ります。私には分からないけど、頭の病気があるので、急に怖くなってしまって怒ってしまうのかもしれないです。』(抜粋)
 自宅に高齢者がいない家庭は珍しくない。ましてや認知症のある人とは…。
 生活の中で触れ合うことが少ないだろう。学校では、施設に慰問するなど、福祉、介護の授業を組み込む事がある。ナイス・キッズはそれが自然に出来る場所かもしれない。
 (R・W)



愛宕の家での最期…28人/看護師

平成19年から住宅型有料老人ホーム『愛宕の家』が始まり、今年で10年目になります。年々、愛宕の家を終の棲家として“看取り”を希望して下さる方が多くなったような気がします。
 この5ヶ月の間で6名の方が亡くなりました。その内の4名の方は入居される時点で御自身の『病』や『死』を自覚されていました。医療機関での治療や最期を選択することも可能でしたが、それも承知の上で『愛宕の家での最期』を選択されました。女性Hさんは1ヶ月、男性Hさん6日間、Dさん1ヶ月、Sさん2ヶ月という短い入居期間で亡くなっています。そのような状況の方の入居を受け入れたことで、スタッフも日々変わる一人一人の体調や“欲求”の対応に精一杯でした。医師を始め関わって下さった多種職の方もその時々に必要な対応と一緒に考え行動して下さいました。何よりご本人、ご家族も精一杯だったと思います。
 今回、看護師の私の中でなんとなくひと呼吸、ひと区切りの気持ちになり、愛宕の家で今まで何人の方を看取らせていただいたのだろうと記録をさかのぼってみました。28人…その1人1人の入居者さんや御家族の表情や言葉、関わって下さった多種職の方、現場のスタッフやヘルパーとの連携が記憶に残っています。その中でいつも看護師としての“正しい判断”を求められている責任感の重圧に陥ります。医療職の癖みたいなものでしょうか…。入居中の御本人の気持ち、御家族との話し合い、医師との連携で最期の形が決まっていくことが多い中、それでも私としてはいつも恐怖心?が湧き出る…これで正しいのか?…と。“愛宕の家では看られませんか”と言ってしまう時もあるのです。それでも愛宕の家での看取りを希望して下さる御本人や御家族の覚悟で否応なく私もスタッフも覚悟をしていくしかないのです。でも、見失ってはいけないこと、それは“愛宕の家では看られませんか。”“愛宕の家では受け入れられません”という選択肢もあるということです。その判断をするためには医療の視点と介護の視点をもっともっと深めていきたいと思ったひと区切りだったように思います。

29年6月に厚生労働省から介護保険法の改正の指針がありました。非営利法人等が開設主体で日常的な医学管理や看取り、ターミナル等の機能と生活施設としての機能を兼ね揃えた、新たな介護保険施設を創設していくようです。それがどんな形になるものなのか不安になってしまうのは私だけでしょうか。
 人の人生や死には色々な形があることを教えてもらっています。どんな人生であれ、その人の命が尽きる時、人として尊重された最期を迎えられる権利は誰にでもあってほしいと願っています。
 そして、愛宕の家は医師や多種職の方々を支えられながら、その人の“死”に誠心誠意、向き合える施設でありたいと思っています。
 (M・T)

訪問介護の目的と役割/ナイス・ケア

奥さんへの訪問介護で生活援助(買物と調理、掃除)を週4回、訪問しているご自宅。ある日のサービス中、寝たきりの奥さんの介護をしている夫が「ゆっくり食事が摂れない」と呟いた。高齢な夫にとって、いくら訪問介護が入っているからといっても24時間の家事や介護の負担は大きいことは察する。
 奥さんに少しでもバランスの良い食事を摂ってもらい褥瘡の予防につなげること、生活の環境を整えることを訪問介護計画書にあげている。その目的にそって調理や掃除をする中で、介護者であるご主人の話を聞けることはとてもありがたい。そこから奥さんの様子を知ることができたり、その情報をケアマネに引き継ぐことで介護の必要性や見直しにつながる。目的と同時に、介護職に携わる者として、会話から何かを感じ取ることは大切な役割だと思ふ。(H・A)

やっぱりうなぎ/愛宕の家

入居者さんとの会話でよく話題になるが、「今何が一番食べたい?」と聞くと、「うなぎ!」と答えられる方の多いこと。食べたいものがすぐに出てくると気分がよい。
 先日、某回転すし店のチラシに“うなぎ”の写りがでかでかと載っていた。何気なくテーブルに置きっぱなしにしておいたのだが、皆さんそろりそろりと手を伸ばしては、眺めてみえる。なんだか笑ってしまう光景で、皆さんのうなぎ好きがよくわかった。
 愛宕の家でも、たまに夕食に“うなぎ”が出ることはある。お店の味とまではいかなくとも、“うなぎ”は“うなぎ”。目が輝く。ある方が“うなぎ”を腹いっぱい食べられたら、もう思い残すことはない!と言われた。“うなぎ”の存在はそれほどまでか…と、また笑いがこみ上げる。何とも和やかな夕食の時間。(K・T)



嬉し…モーニング!!/ナイス・デイ

ナイス・デイでは、午後に喫茶店外出をする事はちょこちょこある。が、先日の木曜日、久しぶりに利用者さん全員でモーニングに出かけた。
 もちろん、みな朝食は済ませているが、モーニングは別腹。あんトーストにコーヒーを堪能する。『デイに来ると喫茶店につれてきてくれるのが嬉しいよねえ〜』『おいしかったねえ〜』自然とほころぶ利用者さんの顔にスタッフの顔もほころぶ♪利用者さんのほとんどは地元の方々。地域柄、若い頃はモーニングに行く事が習慣だったと良く聞く。でも、介護が必要な状態になってからはご無沙汰のようだ。
 地域密着、少人数のデイだからこそ、今までの習慣や地域柄も大事にしていきたい。モーニングの時間は他のお客さんも大勢みえる中、車イスでの来店を快く受け入れてくれるお店と、そこにみえるお客さんに感謝しつつ、また、行こうね!!モーニング!!(M・O)



介護プロフェッショナルキャリア段位制度進行状況

《段位取得者》
 1期生&2期生&3期生(計8名)
 《認定中》4期生(3名)
 《現在、技術評価中》(3名)

SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。
6月の発送部数 96部

《編集後記》

暑いと思ったら朝、晩は涼しくて、なんとなく身体の調子が…。それに比べ、これからはジメジメ梅雨が待っています。体力、抵抗力が落ちてきたところに食中毒の危険が!!
 今月の社内研修は“食中毒について”を予定しています。スタッフみんなで知識をつけ、予防に心がけます。(Y・O)